なすまち

議会だより

CONGRESS NEWSLETTER NASU TOWN

2026
11
No.182



もくじ

審議議案と賛否状況 … 2
決算審査特別委員会 … 4
一般質問 …… 6
委員会活動 …… 14
中学生議会 …… 16
議員見聞録 …… 20

Photo　那須中央中学校

審議議案と賛否状況

第４回臨時会　7月22日

議会の状況や議案書等の議会資料は町ホームページでご確認いただけます。

議会の録画配信はこちら ▶

議案書等の議会資料はこちら ▶

上程された全議案は、全員賛成又は賛成多数で可決されました。

議案番号	上程議案・概要
議案第１号	室野井辺地総合整備計画及び大沢辺地総合整備計画の専決処分について
議案第２号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第３号	工事請負契約の変更について（R7除去土壌等集約地整備工事）
議案第４号	工事請負契約の変更について（R7除去土壌等集約地整備工事）

賛否状況［○…賛成　×…反対　欠…欠席　※議長（齋藤議員）は賛否同数の場合にのみ加わります。］

上程議案（賛否が分かれた議案のみ掲載）		加藤	増山	三浦	平山	田村	関	木村	井上	薄井	室井	池澤	小野	齋藤
議案第３号	工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－
議案第４号	工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－

第５回定例会　8月31日～9月14日

上程された全議案は、全員賛成又は賛成多数で可決されました。

議案番号	上程議案・概要
議案第１号	監査委員の選任について
議案第２号	教育委員会教育長の任命について
議案第３号	教育委員会委員の任命について
議案第４号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第５号	那須町の議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例の制定について
議案第６号	那須町住宅整備基金条例の制定について
議案第７号	那須町税条例の一部を改正する条例について
議案第８号	那須町公民館条例の一部を改正する条例について
議案第９号	那須町保育園条例の一部を改正する条例について

議案番号	上程議案・概要
議案第10号	那須町水道給水条例の一部を改正する条例について
議案第11号	那須町下水道条例の一部を改正する条例について
議案第12号	町有財産の取得について（凍結防止剤散布車の取得）
議案第13号	町有財産の取得について（学校用タブレット端末及びキーボード一体型カバー等の取得）
議案第14号	工事請負契約の締結について（広域農道りんどうライン舗装修繕工事）
議案第15号	工事請負契約の変更について（R7除去土壌等集約地分別ヤード新築工事）
議案第16号	令和8年度那須町一般会計補正予算（第2号）について
議案第17号	令和8年度那須町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
議案第18号	令和8年度那須町介護保険特別会計補正予算（第1号）について
議案第19号	令和8年度那須町水道事業会計補正予算（第2号）について
議員案第1号	那須町決算審査特別委員会の設置について
議案第20号	令和7年度那須町一般会計歳入歳出決算認定について
議案第21号	令和7年度那須町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第22号	令和7年度那須町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第23号	令和7年度那須町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第24号	令和7年度那須町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
議案第25号	令和7年度那須町下水道事業会計決算認定について
【追加議案】議案第26号	工事請負契約の変更について（道の駅那須高原友愛の森外構工事）
【追加議案】議案第27号	工事請負契約の変更について（道の駅那須高原友愛の森外構工事）

賛否状況 ［○…賛成　×…反対　欠…欠席　※議長（齋藤議員）は賛否同数の場合にのみ加わります。］

上程議案（賛否が分かれた議案のみ掲載）		加藤	増山	三浦	平山	田村	関	木村	井上	薄井	室井	池澤	小野	齋藤
議案第10号	那須町水道給水条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	−
議案第11号	那須町下水道条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	−
議案第15号	工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	−
議案第20号	令和7年度那須町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	−
議案第22号	令和7年度那須町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	−
議案第24号	令和7年度那須町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	−

次ページは 決算審査特別委員会

令和7年度 歳入歳出決算を認定しました

議会は、9月8日、9日の2日間、決算審査特別委員会を開催し、予算の適切な執行や事業の成果などについて審査しました。そして9月14日の定例会最終日に、令和7年度一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算を認定しました。主な事業についての気になるポイントを紹介します。

※決算額は1万円未満を切り捨てています。

観光事業推進費

決算額 1億2,173万円

観光客数や宿泊者数は前年度を上回ったが、映像制作・団体旅行の誘致数減少も見られ、個々の事業の効果検証には課題が残る。町内の消費や事業者への経済効果を把握し、施策の改善につなげる必要がある。議会としても観光振興が地域経済に還元されているかをしっかり確認していきたい。

橋りょう維持費

決算額 1億5,892万円

町道高久駅東線の田中橋について、町は利用状況や安全面を踏まえ、回覧で2度周知し、現地にも撤去を知らせる看板を設置した。近くにスクールバス停があるが、橋の利用者はなく、今後も利用が見込まれないとのこと。周知後、撤去に関する問い合わせはなく、橋は撤去される。撤去後の歩行者の通行環境についても検討していただきたい。

友愛の森管理運営費

決算額 4,425万円

友愛の森の利用者数が増加する一方、観光案内所の利用者数は減少している。背景には、来訪前にインターネットなどで情報を調べる人が増えていることが考えられる。しかし、案内所は、現地での情報提供や相談の場として、今後も必要な施設である。利用者のニーズに応じた情報発信や案内機能の充実を図る必要がある。

また、浄化槽原水ポンプ及び移行ポンプ交換委託料について、浄化槽の原水ポンプは、故障により交換工事が行われた。以前からトイレの臭いを気にする声があったが、交換後も解消したかは確認できていないとのことである。施設担当者と状況を改めて確認し、臭いの原因を把握したうえで、必要な対応につなげていただきたい。



子どもの遊び場運営費

決算額 101万円

雨の日も元気に室内で！
全天候型の貴重な子育て拠点である「わんぱくキッズランド」に新しい遊具が設置され、遊び場がさらに充実した。



ワークベース那須管理費

決算額 491万円

テレワークや起業支援のためのコワーキングスペース。
有料化することで管理費の一部を賄うことができているが、利用者の減少に繋がらない工夫を今後検討すべき。



スイミングドーム管理運営費

決算額 1億1,197万円

複合遊具整備工事では、スイミングドームと併せ、多世代が集える温かい空間づくりを進め、みんなで遊べるユニバーサルデザイン遊具が設置された。年齢や特性に関わらず、すべての子どもが安心して楽しめる工夫が詰まっている。



社会福祉総務費

決算額 3,882万円

福祉タクシーについては、高齢者等の移動手段を確保する重要な事業として一定の成果を上げているものと思う。利用券を使い切れないその理由は何かなど、利用実態を把握することが重要で、現在の助成内容が利用者の実態に合っているのか検証する必要があると思う。
また、避難行動要支援者については、名簿の更新件数や個別避難計画の作成率、避難訓練への参加状況なども成果指標として示し、平常時から顔の見える支援体制の構築を期待する。

生活給水施設費

決算額 252万円



水道未普及区域での飲用水の確保に必要な飲用井戸等給水施設整備への補助金。物価高騰を踏まえた補助上限額の引き上げと、予算の増額が必要。

ICT教育推進費

決算額 1億206万円

タブレット端末更新は、国の補助金を活用していることから、計画的な端末更新と財源確保が図られたものと考える。今後は「どのように活用され、子どもたちの学びにどのような効果があったのか」の検証も必要である。教員の負担軽減にもつながる効果的なICT活用や、すべての児童生徒がICTの恩恵を受けられる教育環境の充実を期待する。

企画費

決算額 1,642万円

那須高校の魅力向上では、地域との連携や情報発信を通じ、高校を地域で支える取り組みへの支援は評価できる。一方、振興計画の策定やロープウェイを核とした湯本地区活性化は、具体的な成果や今後の見通しが見えにくい。調査・検討の成果と今後の方向性について、町民への分かりやすい説明を求めるとともに、議会としても支出に見合う成果が得られているかを検証していきたい。



森林整備保全費

決算額 460万円



町内で初めてナラ枯れが確認され、虫が入った木への早急な対策が行われた。今後も、発見時の連絡先や、対策方法の周知等を徹底し、早期発見と被害拡大の防止につなげていただきたい。

次ページは 一般質問

非核三原則は国是であり、
将来にわたり、堅持を



小野 曜子 議員

動画配信が見られます

非核三原則について

質問 政府に堅持と法制化を求める考えは

町 ▶ 政府に求める考えは無い

問 **中学生の修学旅行のコースを広島に、という意見もあるが、広島の平和記念式典への中学生派遣事業を現在の10名から20名に拡大する考えは。**

答 【学校教育課長】県内では11市町が派遣の事業を実施しているが、生徒数からみた割合は県内では最も高い。現時点では増やす考えはない。

問 **政府は「非核三原則※1の堅持をしている」としているが、国会審議で何度質問されても「将来にわたって堅持する」とは答弁しない。「非核三原則」をないがしろにしていることから、「堅持」を国に求める意見書が地方議会などから相次いでいる。町としても「堅持とその法制化」を政府に求める考えは。**

答 【総務課長】町は「非核平和都市宣言」において堅持する立場を明確に示している。法制化については政府に求める考えは無い。

※1…日本が核兵器に対して掲げる「持たず、作らず、持ち込ませず」という国家の基本方針。

障害者医療について

質問 重度心身障害者医療の現物給付は

町 ▶ 来年度実施に向けて準備

問 **こどもの医療費は窓口無料化・現物給付方式になったが、重度心身障害者医療は未だにいったん窓口での支払いである。障がい者とその家族の負担軽減を図るために、町独自で現物給付へと進む考えは。**

答 【住民生活課長】現物給付化は負担軽減につながるとともに、疾病の早期発見や治療の促進が期待できると認識している。受給者の利便性等も踏まえて、これまでも導入に向けた調査検討を重ねてきた。また現物給付化に向けた補助金について、町は令和6年度に引き続き本年7月にも県に対し要望を行ってきた。現在、県においても検討が進められ、県内市町でも機運が高まってきている。本町も来年度の実施に向けて準備を進めている。



■ほかに「電子投票」の質問もしています。

高齢者・子どもに
思いやりのある那須町を



加藤（かとう） 真理（まり） 議員

動画配信が見られます

高齢者の生きがいづくりについて

質問 シニアクラブの活動への支援は

町 ▶ 活動費の助成など

問 シニアクラブの団体数等の推移は。

答 【保健福祉課長】令和5年度から7年度にかけて、団体数は18から16に、会員数は537名から462名となり、団体の減少に伴い、会員数も減少している状況。

問 シニアクラブ活動に対する具体的な支援の取り組みは。

答 【町長】活動費の助成を行い、自主的な交流や活動が行える環境を整えている。

問 シニアクラブに対しての補助金の実施状況は。

答 【保健福祉課長】シニアクラブや連合会の活動に対し、補助金を交付しており、令和7年度は94万円の補助金を交付した。

問 長年活動してきた団体や、補助金を必要とする団体に対し、補助金を公平かつ一律に支給できるよう見直す考えはあるか。

答 【保健福祉課長】基本的には、自立した活動を継続していただくものなので、今のところ、一律の補助は考えていない。

町における生理用品の支援について

質問 小中学校の生理用品の設置状況は

町 ▶ 保健室に常備し女子トイレに設置

問 小中学校における生理用ナプキンの設置状況は。

答 【学校教育課長】保健室に常備してある他、ほとんどの小中学校の女子トイレに生理用ナプキンを入れた「思いやりボックス」を設置している。

問 貧困世帯への生理用ナプキンの支援は。

答 【保健福祉課長】社会福祉協議会が実施している「思いやり食料品等配布会」において、生理用品なども含む日用品の無料配布を行っている。



思いやりボックス

問 災害時用備蓄品として生理用品をどの程度備蓄しているか。

答 【総務課長】1,290枚の備蓄数があり、今年度も300枚の購入を予定している。

問 女性が周囲を気にせず受け取る方法を考えているのか。

答 【総務課長】過去の災害を教訓として避難所運営の手引きを作成し、生理用品の配布については、女性職員での対応や、パーテーション等を活用することで、周囲を気にせず受け取ることができると考える。

町民が納得できる
予算の使い方が必要である



室井（むろい） 髙男（たかお） 議員

動画配信が見られます

森林環境譲与税について

質問　譲与税活用の目的は達成しているか

町 ▶ 概ね目的を達成

問 **森林環境譲与税の活用にあたり、目的は達成できているか。**

答 【財政課長】活用基本方針を定め、森林整備・人材育成等に活用。概ね達成されている。

問 **木工教室の成果は出ているか。**

答 【農林振興課長】木材に親しみ、普及活動や林業に対する意識向上につながっている。

問 **林道作業道整備の進捗状況は。**

答 【農林振興課長】林道の維持管理修繕費として補助金を交付している。

問 **特色ある新たな事業計画の考えは。**

答 【農林振興課長】社会情勢や林業経営の実態等の変化に対応しながら検討していきたい。

問 **林産業の人材確保や雇用促進を図る補助制度を導入する考えは。**

答 【農林振興課長】「高性能林業機械リース支援事業」や「林業機械及び労働安全装備品購入支援事業」、「林業資格等取得支援事業」を実施している。



入札について

質問　入札予定の告知は

町 ▶ 窓口やホームページにて公表

問 **入札予定の告知はどのように行っているのか。**

答 【財政課長】予定価格200万円を超える場合は財政課窓口やホームページで公表している。

問 **入札手続きに関する課題はないか。**

答 【財政課長】入札制度の透明性や公平性、および競争性を確保していくこと。

問 **物価高騰の影響は出ているのか。**

答 【財政課長】積算単価が値上がりし、工事や業務委託の設計額が増額となるなどの影響が出ている。

問 **予定価格の積算方法は。**

答 【財政課長】国の標準積算基準、県の公共工事実施設計労務資材単価表を用いて、適正に積算のうえで予定価格を設定している。

問 **競争入札の原則は守られているのか。**

答 【財政課長】関連法令に基づき、競争入札の原則として運用している。

■ほかに「ごみの集積所」の質問もしています。

町民との対話を
大切にしたまちづくりを



ましやま
増山このみ 議員

動画配信が見られます

黒田原地域の将来像とまちづくりについて

質問　黒田原地域の今後は

町 ▶ 人が集い交流が生まれる機能の充実

問 **黒田原地域を今後どのようにしていく考えなのか。**

答 【町長】駅前通りや周辺環境の整備を進め、安心して歩き回れる空間作りと、人が集い交流が生まれる機能の充実を図る。

問 **黒田原まちなか広場内建物の今後について、現在の検討状況は。**

答 【企画政策課長】令和8年3月の意見交換会において、取り壊しを求める声が多く示されたため、取り壊す方向で検討している。



夏まつりで盛り上がる黒田原まちづくり広場

問 **民間事業者等から、既存建物を含めた活用提案があった場合、官民連携による活用の実現可能性を検討する考えはあるか。**

答 【企画政策課長】本来の目的の地域活性化に沿う内容であることを前提に検討したい。

問 **地域からの要望を待つだけで進行を止めず、第2期ビジョン※1策定と合わせ、町が主体となって進めるという認識で間違いないか。**

答 【企画政策課長】地域から意見を伺う機会を設け、選択肢と時期を示しながら進めたい。

※1… 第2期黒田原駅前まちづくりビジョン
黒田原駅周辺の未来予想図の実現に向けた、地域住民、関係者、行政の取り組み指針。2020年度から2030年度までの10年間とし、第1期計画は2025年まで。

部活動地域展開と持続可能な地域クラブ活動について

質問　意見を継続的に反映する仕組みの整備は

町 ▶ 意見を集約できる環境を整えたい

問 **休日の部活動地域クラブ移行テストで見えた課題や成果は。**

答 【教育長】保護者の理解促進や事務局運営のノウハウ取得等が成果。また地域の指導者が携わり、地域で支える環境づくりの浸透を感じている。

問 **総合型地域スポーツクラブが担う具体的な役割は。**

答 【生涯学習課長補佐】児童生徒がスポーツ、文化芸術活動に継続して親しめる機会を確保し、豊かな体験の充実と地域で支える環境づくりを推進すること。

問 **子ども・保護者・指導者の意見を継続的に把握し運営へ反映する仕組みを整備する考えは。**

答 【教育長】アンケート実施など、意見が集約できる環境を整えていきたい。

問 **新規でスポーツ・文化芸術の地域クラブ活動を予定している団体、また、既に活動している団体に継続的な支援体制を整備する考えは。**

答 【教育長】新規既存に関わらず、継続的な支援体制の構築に努めていきたい。

将来を見据えた施策を
町内みんなで
考えていく事が大切



平山（ひらやま） 輝貴（てるたか） 議員

動画配信が見られます

人口減少社会を見据えた施策について

質問　コンパクトシティ形成の考えは

町 ▶ 立地適正化計画を策定し町づくり

問 **人口減少により税収が減り、インフラ整備効率が下がるため、コンパクトシティ形成が求められるが、町の考えは。**

答 【企画政策課長】黒田原や湯本等の市街地の都市機能を維持し、町内ネットワークを充実させることで必要な生活サービスの確保を図る必要がある。立地適正化計画を策定し、持続可能な町づくりを進めたい。

問 **持続可能な町づくりにおける小さな拠点の位置づけは。**

答 【企画政策課長】地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための重要な機能を担うものと位置づけている。

問 **拠点形成を支援するとしているが、支援にとどまらず、町が主体的に拠点形成を目指すべき。町の考えは。**

答 【企画政策課長】各地域の実情を把握し、どのような機能が必要かを整理して、町がどう関わるべきか地域の皆さまとともに考えていきたい。



田中地区の小さな拠点

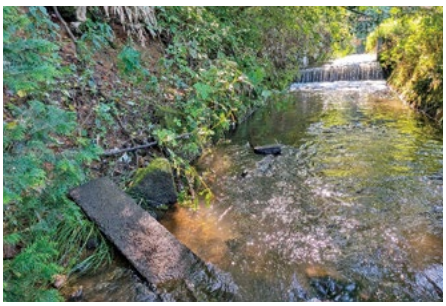
町基幹産業である農業施策について

質問　短期集中期間での農業予算増額は

町 ▶ 今後も新たな施策を検討

問 **令和7年農林業センサス※1が実施されたが、前回調査と比較し、町農業の現状をどのように分析しているか。**

答 【農林振興課長】5年間で農業経営体が209減少し、耕地面積は105ha減少。農業者の高齢化や担い手不足の現状から、減少が続くと考える。



老朽化する農業インフラ

問 **農業インフラは整備後概ね50年が経過し、再整備が必要な時期が来ているが、町の認識は。**

答 【農林振興課長】町としても再整備が必要な時期であると認識している。

問 **今後5年間が農業の未来において大きな岐路になると考えるが、5年間を短期集中期間として農業予算を増額する考えは。**

答 【農林振興課長】町としても今後5年間は重要な時期と捉えている。他自治体の取り組み等を調査・研究しながら、今後も新たな施策について検討していきたい。

※1… 国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域の現状を5年ごとに調査する、統計調査。

安心・安全も含め
社会環境の変化に順応しなければ

住民負担の軽減につながる葬儀の簡素化の取り組みについて



池澤（いけざわ） 昇秋（のぶあき） 議員

動画配信が見られます

質問　葬儀の経済的負担をどう考える

町 ▶ 増加していることは認識している

問 **物価高騰により葬儀に伴う費用や準備などが、遺族に経済的負担となっていることについて町の考えは。**

答 【総務課長】遺族の経済的負担が増加していることは認識している。葬儀の執行の方法については、故人や遺族の判断に委ねられるべきと考える。

問 **全国では「新生活運動」として、葬儀の簡素化、香典返しの辞退などに取り組む自治体があるが、町ではどのように認識しているか。**

答 【総務課長】葬儀の簡素化、香典返しの辞退等については、今も一部の自治体で実施されていると認識している。

問 **町に適した葬儀の負担軽減のあり方について、関係団体や住民と意見交換を始める考えはあるか。**

答 【総務課長】自治会等の会議において、葬儀の負担軽減のあり方について意見を聴取する機会を設けることは可能と考える。

町民の安全・安心を守る防犯対策の強化について

質問　自治会等への防犯カメラ補助は

町 ▶ 補助制度の創設を見送っている

問 **自治会等が設置する地域防犯カメラへの補助制度創設の考えは。**

答 【総務課長】設置後の維持管理に課題が見られることから、現段階では補助制度の創設を見送っている。

問 **地域の実情を把握している自治会が主体となって防犯カメラを設置し、町が財政的に支援する仕組みを検討しては。**

答 【総務課長】防犯カメラ設置の支援策については引き続き調査研究していきたい。

問 **個人住宅に設置する防犯カメラへの補助制度はあるのか。**

答 【総務課長】防犯カメラ設置に対する補助制度はない。

問 **高齢者世帯や一人暮らし世帯などの安全確保のため、個人住宅への防犯設備設置費補助制度を創設する考えは。**

答 【総務課長】詐欺電話防止機能を有する電話機購入に対し補助金を支給している。個人住宅への防犯設備設置費補助については調査研究していきたい。



町が設置・管理している防犯カメラ

■ほかに「決算不用額と住民サービス」の質問もしています。

高齢者の命と健康を守るために
速やかに負担なく接種できる制度を



田村（たむら） 浪行（なみゆき） 議員

動画配信が見られます

RSウイルス感染症対策について

質問 高齢者に対する接種費用助成制度創設は

町 ▶ 現時点では考えていない

問 妊婦向けRSウイルスワクチン定期接種化後の接種状況は。

答 【保健福祉課長】令和8年4月より定期接種となり、7月末時点で、対象の妊婦24名中15名が接種済。6割以上の方が接種している状況。

問 対象者の接種率向上に向けた取り組みは。

答 【保健福祉課長】接種時期が近づいたら、個別通知にて接種勧奨をしている。また、子育て支援アプリで妊婦の方にも情報発信などをしている。

問 高齢者に対する感染症の認識向上の取り組みは。

答 【保健福祉課長】基礎疾患のある方は重症化リスクが高まる。流行期に入る適切なタイミングで手洗いやマスク着用喚起など、基本的な感染対策の周知を図っていく。

問 高齢者に対する接種費用助成制度の創設の考えは。

答 【保健福祉課長】重症化を防ぐ目的として、県外の一部自治体では高齢者に対する接種費用の助成を実施しているが、現時点では考えていない。



成年後見制度について

質問 制度見直しの改正案成立後の取り組みは

町 ▶ 国県の通知を注視し、体制の整備を進める

問 制度の周知についての取り組みは。

答 【保健福祉課長】ホームページ、広報紙、リーフレット配布などを通じて制度や相談窓口の周知に努めている。また、昨年度は講演会を開催した。

問 制度を必要とする人が利用できるための取り組みは。

答 【保健福祉課長】申し立てを行う親族がいない方に代わり、町長が家庭裁判所へ後見開始等の申し立てを行う支援と、申し立てに要する費用や後見人へ報酬を助成する支援。また、成年後見相談会を開催。

問 制度見直しの改正案成立後の取り組みは。

答 【保健福祉課長】一部改正は、成年後見制度を抜本的に見直すものである。町としては今後示される、政省令や国・県の通知、家庭裁判所の運用等の動向を注視し、那須町成年後見センターを中心に、改正の趣旨である意思決定支援を一層重視した相談・支援体制の整備を進めていく。

■ほかに「遺贈寄付」の質問もしています。

令和8年 第5回定例会 傍聴者（一般）アンケート集計結果

定例会アンケートにご協力いただきありがとうございました。
皆さまのご意見を議会活動に反映するよう努めます。
アンケート結果は、ホームページにも掲載しております。

他のご意見等はこちらから

開 催 日	傍聴者(人)	回答者(人)	回収率(%)
8月31日	2	2	100.00
9月　2日	30	17	56.67
9月　3日	5	3	60.00
9月14日	1	1	100.00
合　計	38	23	60.53

議会を傍聴されて気づいた点、ご意見をいただきました。

	回 答
初めて定例会を傍聴させていただきました。那須町の具体的な内容の質疑されていて、とても分かりやすく思い、取り組みについてとても興味深く聴くことができました。	議会の取り組みに関心を寄せていただきありがとうございます。今後もぜひ議会傍聴にご参加ください。
一部執行部の答弁を聞くと受身の答弁ばかりで能動的に町民の為、町を良くするとは思えない。議員の方々はもっとつっこんだ申し入れをお願いしたい。	現在の問題点を指摘し、原因、改善策などを含め、一般質問で深堀していきます。
答弁側が質問と対応していない回答をしていることがある。事前通告されているはずの質問で「いつ」と問われているものに時期に触れずすますことは避けていただきたい。	再質疑などで問い質していきたいと考えます。
討論は必要で大切なこと、内容も理解はできるが時間内に終了できるよう要点をまとめてお願いしたい（最後まできたいが尻切れとなるのは残念且つ不完全なイメージしか残らない。）	討論の時間は3分以内と決めてあり周知のことですので、議員として遵守するよう規律を正します。

議会又は議員について、ご意見をいただきました。

	回 答
町長の答弁では質問者の質問をくりかえしてからの返答が時間的にも不要です。	ご指摘を含め町長へ伝えます。
傍聴人心得の裏にある座席表、町執行部側も名前を載せてほしい。個人情報の関係でむずかしいのかもしれませんが	開かれた議会ですので、執行部とも調整してみます。
おつかれ様でした。地域の為に町のためにありがとうございます。一緒に良い町にしていきましょう。	議会の取り組みを傍聴いただきありがとうございます。議会も町民の皆さまと一緒に良い町にしていきます。

※意見は原文のまま掲載しております。

次ページは 委員会活動

総務産業常任委員会の活動報告

7/2(木)~3(金) 行政視察　山梨県北杜市（ほくとし）

調査内容：道の駅運営と指定管理について

- 北杜市にある3つの道の駅は、それぞれの設置目的や役割に沿って指定管理者により運営されている。「道の駅こぶちさわ」では、商品化の助言や販売情報の共有、施設間の農産物直行便、冬季の出荷調整など、生産者への支援も積極的に行われている。
- 指定管理施設は約90施設に及ぶが、市は施設ごとに目的と成果を明確にし、事業報告やヒアリングを通して、運営状況を丁寧に把握している。



「道の駅こぶちさわ」を視察

所感　業務委託か指定管理かという制度の違いだけでなく、施設運営の目的や町と運営者の責任・権限を明確にするとともに、公共的役割を評価する指標を設け、町の意向が確実に運営へ反映される仕組みづくりが重要である。今後は道の駅を含む町有施設の役割や成果、地域への波及効果を継続的に検証し、議会として運営改善に向けた提言につなげていきたい。

民生文教常任委員会の活動報告

7/16(木) 行政視察　長野県茅野市（ちのし）

調査内容：地域医療の取り組みについて

令和4年にデジタル田園健康特区の指定を受け、「地域まるごと病院機能」を掲げてICTを活用した地域医療に取り組んでいる。

所感　多職種連携ツールによる情報共有の効率化や、小児オンライン医療相談アプリの活用など、諏訪中央病院などと連携し、住民サービスの向上や持続可能な地域医療と地域づくりを目指す取り組みは参考にすべきと感じた。

7/17(金) 行政視察　長野県上高井郡小布施町（かみたかいぐんおぶせまち）

調査内容：移住定住について

移住前から定住後まで切れ目ない支援を行い、若者会議やミライ構想カレッジin小布施など社会課題解決のモデルづくりに取り組んでいる。

所感　若者が主体となって、地域の課題解決に取り組む循環型の仕組みが確立されている。若い世代や関係人口を巻き込み、ライフステージに寄り添った切れ目のない移住・定住支援策を推進していく必要があると感じた。

広報特別委員会の活動報告

8/27(木) 行政視察　神奈川県足柄上郡開成町（あしがらかみぐんかいせいまち）

調査内容：「議会だよりの編集」「広報広聴改革」

- 議会独自のウェブサイトの開設や、議会だよりのタブロイド判への変更など、「読む」から「見せる＝魅せる」への改革に取り組んでいる。
- 外部アドバイザーなどに頼らず、改革の目的を明確にし、試行錯誤と検証を重ねながら成果につなげている。

所感　議会だよりの改善にとどまらず、広報広聴改革を議会改革と一体で進めている点が印象的だった。情報を一方的に発信するのではなく、町民との接点を増やし、寄せられた声を次の発信や議会活動に反映することが重要である。那須町議会でも、町民に身近な議会づくりにつなげたい。

8/28(金) 町村議会広報研修会　場所：LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）

研修内容

- 「住民と議会をつなぐ広報デザイン術」
- 「議会広報紙ビフォーアフター　紙面を見直す効果的なテクニック」
- 「山形県川西町議会における議会広報の取り組み ―読まれる議会だよりを目指して― 」

所感　実体験や実際の議会広報紙を題材とした具体的な改善事例が多く、紙面づくりに取り入れやすい内容だった。一方で、編集技術だけではなく、町民に議会の活動を伝えたいという強い思いが、継続的な改善を支えていると感じた。学んだデザインや編集の工夫を生かし、町民に伝わり、手に取ってもらえる議会だよりづくりにつなげたい。

議員研修会

開　催：9月15日（火）
テーマ：「通年議会と議会改革」
講　師：青森大学 社会学部教授
佐藤　淳 氏

通年議会や生成AIの活用など、議会改革について事例を交えて学んだ。
「SOUNDカード」を活用し、グループごとに意見交換する場面では、互いの考えに耳を傾け、対話を深める重要性を改めて実感した。町民に開かれた議会につながるかという視点を大切にし、町民との対話や議員間討議を充実させながら、時代に合った議会改革を進めていきたい。



SOUNDカードを使った議論を体験

次ページは 中学生議会

中学生議会を開催しました 令和8年10月2日

町立中学校の3年生が「中学生が考えるみんなが住み続けたいまちづくり」について、プレゼンテーション形式で町議会に提案しました。

学校名	プレゼンテーション内容	生徒名
那須中央中学校	空家を増やさないために	渡辺（わたなべ） 三月（みつき）さん　伊藤（いとう） 菜々美（ななみ）さん 渡辺（わたなべ） 繭（まゆ）さん
	放課後交流センター	人見（ひとみ） 皇輔（こうすけ）さん　松本（まつもと） 蓮（れん）さん 益子（ましこ） 遼（りょう）さん
	人口問題	小山田（おやまだ） 朱希（あかね）さん　三森（みもり） 稜真（りょうま）さん 新井（あらい） 璃子（りこ）さん
那須中学校	便利で未来的な町	岡崎（おかざき） 結衣（ゆい）さん　久郷（くごう） 茜音（あかね）さん 平山（ひらやま） 楓（かえで）さん
	那須町の観光業をより良くするために	遠藤（えんどう） 伯（はく）さん　栗原（くりはら） 芽生（めい）さん 髙橋（たかはし） 悠悟（ゆうご）さん



議長の感想

堂々とした発表で、大変素晴らしかったです。話し合いや練習を重ね、今回の中学生議会に臨んでくれたことに感謝します。私たちでは思いつかないような、柔軟な発想による提案がたくさんありました。皆さまの提案を一つでも実現につなげられるよう、議会としても取り組んでいきたいと思います。

那須議会フォーラムを開催



皆さまのお住いの地区の課題について意見交換を行いました。
皆さまからいただいたご意見は、町への予算要望や政策提言等の参考とさせていただきます。

ゆめプラザ・那須　開催日：８月21日（金）　参加者：18名

メインテーマ「自治会・自治公民館の活動について」

主な意見
- 高齢化による自治会への加入減少や、なり手不足が増加している。
- 自治会に入っていないと災害時の安否確認が遅くなるのではないか。

旧大沢小学校体育館　開催日：８月24日（月）　参加者：13名

メインテーマ「除去土壌等集約事業について」

主な意見
- 集約することには反対しないが、安全に事業をしてほしい。
- 住民がどのような不安を持っているか理解しているか。

高原公民館　開催日：８月26日（水）　参加者：8名

メインテーマ「観光振興と宿泊税の活用について」

主な意見
- 観光客入込数が上がっているが、DMOの成果なのか過程を知りたい。
- 湯本地区の廃墟が景観を損ねている。

女性団体連絡協議会　開催日：９月29日（火）　参加者：12名

メインテーマ「那須町の問題点について考えてみよう」

主な意見
- 高齢者へのタクシー券等の支援を拡充してほしい。
- 農業の担い手不足が深刻。町の基幹産業としての施策をしっかりしてほしい。

※掲載した以外にもたくさんのご意見をいただきました。いただいたご意見には、委員会等で回答を協議し、結果はホームページ等で公表いたします。

令和9年度予算編成における要望書を町長に提出!

8月に行った議会報告会（那須議会フォーラム）で町民の皆さまから寄せられた意見をはじめ、予算・決算審査や所管事務調査、行政視察に基づき協議を重ね、議会の総意として、10月2日に、令和9年度予算編成における要望書を町長に提出しました。

要望の概要

1. 農業用水路普請制度の創設
2. 開拓道路維持補修工事費の増額
3. 鳥獣被害対策実施隊員への報酬、捕獲報奨金の増額・狩猟免許取得等の補助制度の充実
4. 福祉タクシー料金助成事業の対象者条件の緩和
5. 小中学校体育館のトイレや屋外トイレの整備
6. ふれあいルームや生きがいサロンのLED照明器具への更新
7. 友好都市交流のための議員研修費の継続

次ページは 那須高校生 議会傍聴

那須高校生が議会を傍聴しました 令和8年9月3日

町は、栃木県立那須高等学校とパートナーシップ協定を締結し、様々な連携した取り組みを行っており、その一環として、例年、同校の1年生が定例会の一般質問の傍聴に来られています。今年度は、9月定例会の傍聴に計54名の生徒が参加されました。その中から2名の方の感想を紹介します。

※原文のまま掲載しております。



宮本（みやもと） 心晴（こはる）さん

私が議会を傍聴して、特に印象に残ったことは二つあります。一つ目は、高齢者世帯の詐欺被害を防ぐため、防犯設備の設置費を補助する制度についてです。那須町には高齢者が多く暮らしているため、このような制度によって詐欺被害が減り、安心して暮らせる町につながっていくのではないかと思いました。二つ目は、限られた時間の中で、質問に対して具体的で分かりやすく答えていたことです。相手に自分の考えを分かりやすく伝えることの大切さを改めて感じました。今回の傍聴をきっかけに、これからは那須町の課題を自分にも関係することとして捉え、町をよりよくするために何ができるのか、さまざまな視点から考えられるようになりたいです。



後藤（ごとう） 美嘉（みか）さん

私が議会を傍聴して特に勉強になったのは、RSウイルスワクチンについての話です。現在、少子高齢化が進み、後継者不足や社会保障制度を支える世代の負担増加など、さまざまな問題があります。そのような中で、妊婦さんへのワクチン接種について議会で議論されていることを知り、若い世代や子どもたちの健康を守るための取り組みの重要性について考えることができました。普段の生活ではあまり意識しない地域の課題について、議会ではさまざまな立場から意見が交わされています。今回の傍聴を通して、自分たちの地域には何が必要なのか、これからどうしていくべきなのか、そして自分たちに何ができるのかを考える貴重な機会になりました。

12月 定例会の予定 11月30日(月)～12月10日(木)

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30 定例会開会	12/1	2 一般質問(第1日)	3 一般質問(第2日)	4 常任委員会	5
6	7 常任委員会	8 予算審査特別委員会	9	10 定例会最終日	11	12

議会のスケジュールは、町ホームページ「**那須町議会カレンダー**」から確認できます。

9月本会議をインターネットで動画配信しています。

議員全員協議会 傍聴のご案内

（11月から令和9年1月）

11月 **24日(火)**・12月 **22日(火)**・1月 **19日(火)**

時間：午前9時から

※開催日時は変更する場合がありますので、予めご了承ください。

議会傍聴の手話通訳について

傍聴希望日の7日前までに電話、もしくは下記の二次元コードから申し込みください。

☎ 0287(72)6926

※直前のお申し込みや、その他の状況によりご希望に沿えない場合があります。

スマートフォンやタブレット端末から「なすまち議会だより」を読むことができます。

TOCHIGI ebooks（栃木イーブックス）

マチイロ

音訳版

今号は12月中旬頃掲載予定

町民の声

渋井（しぶい） 正則（まさのり）さん（東岩崎）

私は那須町に生まれ、農業に関係する仕事に勤めてきました。
那須町の豊かな自然や地域の資源を生かし、農業と観光をさらに発展できたら良いと思います。農業では、担い手不足や高齢化が進む中、若い世代が安心して就農できるよう、農地の確保や機械・設備、経営面での支援の充実が必要と感じています。那須で生産される米や野菜、乳製品などの農産物を町の魅力として積極的にPRし、地産地消を進めていただきたいです。さらに、農業体験や収穫体験など、農業と観光を結びつけた取り組みを充実させて、観光客の滞在や地域での消費につなげて、農業と観光が互いに支え合い、地域経済の活性化と町民の暮らしの向上につながる町づくりを期待しています。

傍聴席



渋木（しぶき） 将磨（しょうま）さん（田中）

今回初めて議会を傍聴しました。会場には独特の緊張感が漂っていましたが、一般質問を通じて議員や役場の方々の「那須町を思う熱意」がひしひしと伝わってきました。私自身、生まれ育ったこの町に深い愛着があります。それだけに、町の発展のために尽力されている方々の姿を直に拝見できたことは、胸が熱くなる思いでした。
町の政治は、普段の生活では意識しづらいかもしれません。しかし、一度傍聴してみると我が町に対する視点が大きく変わります。それに伴い、今までの暮らしにはなかった新たな発見にも繋がるはずです。まだ議会に行ったことがない方も、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

表紙のことば

想いを伝え、一票に託す！



那須中央中学校で生徒会選挙が行われました。候補者たちは、学校をよりよくしたいという想いや提案を、自分の言葉で伝えました。仲間の声に耳を傾け、投票で代表を選ぶ経験を通して、一票に想いを託す大切さを学んでいます。

編集室

1991年アメリカで、巨大な温室に科学者が8人閉じこもり、食料・水・酸素などを自給自足できる環境を作り出せるかどうか。これを調べるため2年間行われた実験があります。
環境にとって重要なものの一つが樹木です。酸素を供給し、生物のすみかともなる。温室に植えた木は急速に成長したが多くは枯れてしまった。風というストレスがなかったからであり、風に耐えることで木は強く育つ。逆境が生物を強くする。人間にとっても様々な困難があることによって、一人の人間としてたくましく成長することができる。議員として課題解決に困難が生じるのは当たり前であります。しかし、信念をもってやり続けることが求められます。
困難があるからこそ、議員としての力量が備わり、更なる課題解決に繋げていけると、決意も新たに邁進してまいります。（田村）

議員の寄付行為の禁止について

公職選挙法の規定により、議員が金品などの物を贈る寄付、地域への催し物への寄付や差し入れすることは禁止されています。
また、議員に対し、寄付を出すよう勧誘する、また要求することも禁止されています。皆さまのご理解をお願いいたします。

発行人　那須町議会議長　齋藤　則人
編　集　那須町議会広報特別委員会
〒329－3292
栃木県那須郡那須町大字寺子丙3番地13
☎ 0287（72）6926

次ページは 議員見聞録

あの場所の今を調査！

議会見聞録

レポート 第22弾

「那須まちづくり広場」の巻

今回は、平成28年に閉校となった朝日小学校を利活用し、文化、食、ケア、住まいの機能を備えた施設「那須まちづくり広場」をレポート!



▲活用前の旧朝日小学校の様子

暮らす人も訪れる人も

旧校舎内には、音楽会や講座を開催できるホール、ブックギャラリー、カフェやショップ、宿泊施設、食品加工場、セーフティネット住宅などがあります。校庭にはサービス付き高齢者向け住宅を整備。デイサービスや随時対応型訪問介護看護、放課後等デイサービスなど、幅広い福祉サービス、地域住民向けの送迎サービスを提供しています。





▲「コミュニティーカフェここ」では管理栄養士監修の地元の野菜を活用したランチがいただけます♪



那須まちづくり株式会社
代表
近山 恵子さん

この場所に残る歴史や記憶を受け継ぎ、これからも文化・学び・交流の場として大切にしていきたいと考えています。やりたいこと、聞きたいこと、食べたいこと、一人暮らしに必要で、ないものをつくる！が信条です。ぜひ何でも話しに来てください。皆さまと一緒に色々なことを実現していきたいと願っています。

誰もが安心して暮らせる場所を

広場では、「フレグランスフリー宣言」を掲げています。入居者からの提案をきっかけに、柔軟剤などの香料をできるだけ施設内に持ち込まない取り組みを行っています。様々な声を聞きながら、誰もが最期まで安心して暮らせる環境づくりを進めています。



▲那須まちづくり広場の全景

知恵や経験を次の担い手へ

運営を担うメンバーの高齢化が進む中、これまで培ってきた知恵や経験を受け継いでいくことが課題です。単なる仕事ではなく、こうした地域づくりを「面白い」と感じ、一緒に学びながら挑戦したい人と活動を繋いでいきたいと考え、人材を募集しています。

那須まちづくり株式会社
〒329-3225 豊原丙1340（旧朝日小学校）
電話:0287-74-3434

見聞後記

文化・食・ケア・住まいをつなぎ、地域にも開かれた広場の取り組みから、分野を越えて人や資源をつなぐことで、暮らしを支える新たな仕組みが生まれる可能性を感じた。行政には、民間を単なる委託先や支援先としてではなく、ともに課題に向き合う対等なパートナーとして連携を進めることが、これからますます求められるのではないだろうか。現場で培われた知恵を町づくりにどう生かしていくか。地域との接点を広げ、経験を次の担い手へつなぐ取り組みを後押しできるよう、考えていきたい。